

臨床試験における AIの活用の現状と展望

～有事の感染症臨床試験を見据えて～

日 時

2026年1月26日(月) 15:00-17:00

主 催

国立健康危機管理研究機構 (JIHS)



Japan Institute for Health Security

総合司会

国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター長
杉浦 互 先生

参加無料
※事前登録制

ウェビナー

プログラム

15:00-15:05	開会挨拶	国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏 先生
15:05-15:30	講演 1：アカデミア 「生成AIが変える臨床試験の未来 - アカデミアの視点から」	国立がん研究センター中央病院 国際開発部門長 中村 健一 先生
15:30-15:55	講演 2：製薬企業 「製薬企業の視点から見る臨床試験 のAI活用 - 一日も早く新薬を患者 さんに届けるために」	中外製薬株式会社 バイオメトリクス部 ヘルスケアデータエンジニアリングG 石黒 武蔵 先生
15:55-16:20	講演 3：倫理 「医療・研究におけるAI活用の 倫理的配慮」	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療倫理学 教授 井上 悠輔 先生
16:20-16:25	休憩	
16:25-16:55	パネルディスカッション： 「有事に備えたAI活用における 可能性と課題」	モデレーター JIHS国際ショナルトライアル部長 時田 大輔 先生 パネラー ① JIHS国際感染症センター長 大曲 貴夫 先生 ② JIHS JCRAC運営部長 大柳 一 先生 ③ 国立がん研究センター中央病院 中村 健一 先生 ④ 中外製薬株式会社 石黒 武蔵 先生 ⑤ 京都大学大学院医学研究科 井上 悠輔 先生
16:55-17:00	閉会挨拶	JIHS臨床研究センター長 杉浦 互 先生

● 開催事務局：国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター 臨床試験調整室
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
rinshou_chousei_group@jihs.go.jp

参加登録は
URLかQRコードから

<https://vb.wufoo.com/forms/qeypy5a1e6e5hg/>

